

令和6年度

地域と学校の連携・協働「絆」体制構築事業

日之影町

【本年度重点的に取り組む課題】

- ・学校運営上の課題
- ・社会に開かれた教育課程

【課題の詳細】

学校では、地域住民を巻き込んだ伝統芸能等を取り入れた教育課程を編成し、地域とともにある学校運営を行っている。日之影町は、高齢化また人口減少による担い手や後継者等の人材が不足し、地域の伝統文化や伝統芸能の継承が難しくなりつつある現状があり、学校と地域で課題を共有し、持続可能な方法やあり方等について検討を始めている。

【課題解決のために本事業で取り組むこと】

令和5年度同様、地域に根差し、充実した学校運営を行うため、学校運営協議会において、学校での課題や目指す学校像について熟議を重ね、推進員と積極的に協働を図りながら、より多くの地域住民に学校運営に参画させられるよう継続して取り組んでいく。

【本事業で達成する目標】

教職員が担ってきた業務の一部（地域住民との連絡調整や候補者探し）を推進員が担う等、役割分担を進めることで、教職員の負担軽減に繋がっていく。また、推進員と協働しながら取り組むことで、これまで以上に、より多くの地域住民を学校運営に参画させることができ、充実した学校運営へと繋がっていく。

【目標の達成度を測る指標】

地域人材を生かした教育活動の割合

現状の数値（R5 末）	本年度の目標値	本年度の実績値（R6 末）
60%	70%	100%

【目標に対する評価・分析】

令和6年度も学校運営協議会において、学校と地域それぞれがもつ強みや課題を共有し、また解決に向け、知恵や知識を出し合う等、熟議を重ねながら、実践を重ねてきた。一例として、高巣野小学校では、目標として掲げてきた「学校と地域合同の運動会」の開催を実現させ、学校は地域の人や良さを知り、また地域は学校を知るきっかけとなり、地域と学校の結束力をさらに高めることができた。学校運営協議会の取組を通して、地域の「ひと・もの・こと」を知り、その良さや強みを各学校の教育課程に生かすとともに、日之影町の魅力を再発見する機会となっている。